

## 教育大綱 基本方針—1

### 未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

#### 亀山市教育関係職員 研修基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら  
なかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

#### 学校教育目標

生き生き 笑顔で つながって  
～自ら学び つながり  
心豊かにたくましく生きる 井田川っ子の育成～

#### 研究主題

「やってみたいな！」「伝えたいな！！」  
～子どもたちが考え、  
進んでつながる授業づくり～

## 研究主題に迫るための手立て

### (1)授業づくり(学習部)

#### ①つけたい力を明確にし、力のつながりを考えた単元構想

- ・単元の導入では、単元のゴールを提示し、ゴールから逆算して、学習計画を子どもたちとともに立てる。教師は子どもたちに「つけたい力」をしっかりとち、単元構想を練る。子どもたちとともに立てた計画をもとに学習を進めていく。「力のつながり」とは、身についた力を、他教科の学習につなげたり、全校集会での発表や、地域の方や他学年へ伝えたりすることにかかしていくことである。

#### ②子どもが進んで考え、主体的に伝えようとする工夫

- ・自分の考えをもち、表現するための基礎的な力の定着。「聴く・語る」を中心に、語彙を増やし、読力、書く力を定着させる。子どもが思考する場面を設定する。単元のめあてに応じて、ワークシートを工夫する。

#### ③一人ひとりをいかし、子どもたち同士をつなげる工夫

- ・ペア、グループ学習等の学習形態や、子どもの意見をつないでいく教師の発問や切り返しを常に意識した授業づくり。見つめる子が授業内で活躍する場面を設定する。

### (2)学習への土台作り(学習部)

#### ①基礎学力の向上

- ・「モニスタ」の充実 ・個別の支援方法の確立（なるほどタイム、井田っ子スマイルとの連携）  
テスト・ノートの共通理解 家庭学習の定着（学習の手引きの配布）「ちりつもノート」の活用  
各種テストの結果分析と指導への反映 「聴く、語る」基本的技能の習得

#### ②学習規律の徹底

- ・学習規律表の見直しと指導徹底 話し合いのルール of 作成

#### ③学習環境の充実

- ・教室掲示、「聴く・語る」「声のものさし」「名前カード」「ことば温泉」  
・校内掲示の充実「ちりつもノート展」

#### ④現職教育の活性化

- ・教師力向上・・・全体研修会 授業提案、授業参観 OJT



### (3)仲間づくり(人権教育部)

#### ①学級の人権課題をとらえ、子どもたちの実態を把握

- ・QU調査の活用（年2回）、人権アンケート、家庭訪問など

#### ②子ども一人ひとりの思いをつかみ、子ども同士の思いをつなぐための手立て

- ・教育相談、マイノート（内容を学級に発信し、学級の仲間としてのつながりを深めていく）

### (4)自治的活動(生活部)

#### ①児童会・委員会活動の活性化

- ・子どもたちの自主性を伸ばす活動を仕組む。

#### ②安心して過ごせる学校へ

- ・生活のルールを守り、ねばり強く最後までやり抜く子どもの育成

## 授業研究について

研究授業 ・全員公開授業（1人1回） ・公開教科 国語科、道徳科

#### 一学期

6月24日（月）授業公開強化日  
～6月末まで 全員公開

#### 二学期

10月15日（火）国語科

#### 三学期

1月27日（月）道徳科

## ◎研究構想図

### 学校教育目標

キャッチフレーズ

進んでチャレンジ 笑顔いっぱい 井田川っ子

生き生き 笑顔で つながって  
～自ら学び つながり

心豊かにたくましく生きる 井田川っ子の育成～

### <めざす子どもの姿>

- ①主体的に学習し、自分の思いを進んで表現する子ども
- ②自分も友だちも大切にして、自らつながる子ども

研究主題 「やってみたいな!」「伝えたいな!!」  
～子どもたちが考え、進んでつながる授業づくり～

### 仲間づくり

- ①学級の人権課題をとらえ、子どもたちの実態を把握する
- ②子ども一人ひとりの思いをつかみ、子ども同士の思いをつなぐための手立て
- ③取り組みの検証  
→「見つめる子」を設定したなかまづくり

### 授業づくり

- ①つきたい力を明確にし、力のつながりを考えた単元構想
- ②子どもが進んで考え、主体的に伝えたい授業展開
- ③一人ひとりをいかし、子どもたち同士をつなぐ話し合い活動

### 自治的活動

- ①児童会・委員会活動の活性化  
→子どもたちの自主性を伸ばす活動の場の設定や教師の支援
- ②安心して過ごせる学校へ  
→生活のルールの指導徹底

## 研究主題設定の理由

### (1)これまでの取り組み、成果と課題

#### ・昨年度 研究主題

「やってみたいな！」「伝えたいな！！」～自ら学び、ともに高め合う子どもの育成～

#### ・研究領域

道徳・外国語活動・理科・国語科・生活単元学習・算数科・総合的な学習の時間  
成果

- ・授業の導入や課題の工夫をすることで、進んで活動に取り組む子どもたちの姿が見られた。
- ・全体交流を工夫することで子どもたちの「伝えたい！」という気持ちを高めることができた。
- ・低・中・高の各ブロックの振り返りのめやすの表を作り、その表をもとに、振り返りを書くことで、次の授業の意欲をもたせることができた。

#### 課題

- ・子どもたちが「伝えたい！」という思いをもち、表現していくことについてまだまだ課題がある。

### (2)子どもたちの実態

- ・課題に対して、一生懸命に考えたり、漢字や計算のプリントや反復練習に黙々と取り組んだりすることができる。
- ・学力調査では、国語科、算数科にて正答率が三重県平均を超えている。また、生活習慣がしっかりしている児童が多く、朝食を食べている子の割合も高い。
- ・自主学習も学校で決められた時間取り組んでいる。
- ・自分から主体的に考えたり伝えたりする子の割合が低い。
- ・児童数が多く、互いのことを十分知り合えていないことで、子どもたち同士のつながりが薄い。
- ・特定の仲間に対しての偏見や決めつけによる否定的な言動が見られ、それを注意する力も弱い。

### (3)今年度のめざす子ども姿と主題について

#### 今年度 研究主題

「やってみたいな！」「伝えたいな！！」～子どもたちが考え、進んでつながる授業づくり～

上記の実態をうけて、今年度は、「やってみたいな！」「伝えたいな！！」サブテーマ～子どもたちが考え、進んでつながる授業づくり～を主題にする。「やってみたいな！」「伝えたいな！！」では、「主体的に学習し、自分の思いを進んで表現する子どもの姿」を目指したい。また、学級の中で、すべての子が授業に参加し、主体的に学習し、自分の思いを進んで表現するには、自分の意見を周りの友だちが聴いてくれる安心感が大切である。学級で認めてくれる、聴いてくれるという安心感という土台を大切にしていきたい。自分も大切だし、友だちも大切。そう思える仲間づくりを授業の中と、学級づくりの中とで並行して進めていき、「自分も友だちも大切にして、自らつながる子どもの姿」を目指していきたい。

- ・「主体的に学習し、自分の思いを進んで表現する子どもの姿」を目指す。
- ・「自分も友だちも大切にして、自らつながる子どもの姿」を目指す。
- ・「認めてくれる、聴いてくれる安心感、土台を大切にする学級」を目指す。

#### 研修の領域

国語科、道徳科、生活科・総合的な学習の時間、生活単元科学習、特別活動

授業公開は国語科、道徳科を中心とする。国語科をもとに、「聴く・語る」等の表現するための力を育て、国語科と道徳科を中心につけた力（インプット）を生活科・総合的な学習の時間、生活単元科学習、特別活動に活かしていく（アウトプット）ことをねらう。